

海田町まちづくり推進委員会 議事録(要旨)

開催日時	令和7年3月4日(火) 14:00~15:40
開催場所	海田町役場4階委員会室
出席者等	<p><委員> (敬称略)</p> <p>田中 貴宏 (広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授) …委員長 林 孝 (海田町教育委員会委員) 今川 朱美 (広島工業大学工学部環境土木工学科准教授) 神田 一之 (海田町自治会連合会 会長) 俵 尚子 (海田町民生委員児童委員協議会 会長) 川上 一望 (海田町公衆衛生推進協議会 会長) 中神 裕子 (海田町民生委員児童委員協議会 主任児童委員) 富永 浩司 (広島安芸商工会 理事) 武市 浩二 (西部地域協議会 事務局長) 安藤 良将 (広島県総務局DX推進担当部長) 新谷 耕平 (学校法人幸和学園 理事長) 高橋 諭史 (広島銀行海田支店 支店長)</p> <p><事務局等></p> <p>竹野内 啓佑 (海田町長) 脇本 健二郎 (企画部長) 鶴岡 靖三 (総務部長) 丹羽 勤 (町民生活部長) 森川 雅枝 (福祉保健部長) 木村 生栄 (建設部長) 新藤 正敏 (教育次長) 石田 順也 (かいたブランド課長) 溝 兼茜 (かいたブランド課主任) 阿部 夏希 (かいたブランド課主事)</p>
会議次第及び資料	<p>【会議次第】</p> <p>1 開会 (1) 町長挨拶 (2) 新任委員の紹介</p> <p>2 議事 (1) 第5次海田町総合計画及び海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和5年末時点の検証について (2) 第5次海田町総合計画後期基本計画について (3) 交付金の効果検証等について ・ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況及び効果検証について ・ デジタル田園都市国家構想交付金デジタル実装タイプ(TYPE1)の効果検証について</p>

	<p>(4) その他</p> <p>3 閉会</p> <p>【資料】</p> <p>(1) 第5次海田町総合計画及び海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和5年度末時点の検証について</p> <p>(2) 第5次海田町総合計画後期基本計画について</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金及び物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金</p> <p>(4) デジタル田園都市国家構想交付金の検証等について</p> <p>【参考資料】</p> <p>(1) まちづくり推進委員会要綱</p> <p>(2) 第5次海田町総合計画指標達成状況</p> <p>(3) かいた未来アンケート集計結果（速報値）</p> <p>(4) LINE 満足度アンケート調査の結果</p> <p>(5) 証明書発行等に関するアンケート調査（結果）</p>
--	---

主な質疑	
議題(1)	第5次海田町総合計画及び海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和5年度末時点の検証について
事務局	資料1説明
新谷委員	<p>① P3 のにぎわいと交流のまちづくりについて、遅れ、やや遅れが目立つ。なぜか。</p> <p>② P4 預かり保育利用者数が令和4年度の実績数と比較して、5,000人程度減少している。</p> <p>全体の数が少なくなっていることから保育利用者が減少することは自然である。数が少ないことについてやや遅れと評価するのはどうか。</p> <p>③ 以前、各保育所・幼稚園に電子黒板を頂いたが、重くて危ないため、使用する頻度が少なくなっている。今後同じような機会があれば、簡易的なプロジェクターを頂く方が現場としてはよい。</p> <p>④ 参考資料2のP3について「中学校卒業段階で英検3級程度以上の生徒の割合」について、数字だけ見ると下がっているが、なぜか。</p> <p>⑤ 参考資料2のP3について「学校が楽しいと感じている児童生徒の割合」「不登校児童生徒の割合」について、広島県には学びの体験学校がない。数値目標達成のために学校に連れ出すといったことにならないように、不登校の生徒を生まない別の指標を設定すべきではないか。</p>
かいたブランド課長	① 力を入れていかなければならないものについては、後期基本計画で見直す。自治会加入率など住民が関わる部分について、遅れ、やや遅れがあり、見直しを進める。

	②目標値が現状に合っているか、福祉保健部と後期基本計画の中で見直したい。
福祉保健部長	<p>子育て支援全般について回答する。</p> <p>②預かり保育は幼稚園での実績である。</p> <p>共働き世帯が増えてきて、育児休業の取得が十分に浸透してきた。就労の継続を希望している人が増えており、幼稚園より保育所を希望する保護者が増えている。現状を踏まえて来年度見直す。</p> <p>③小学校教育への連携を強めるために教育委員会と配布したもの。買い替えの時期まで保育の現場で様々な場面で活用してほしい。</p> <p>⑤小学校に上がる前の乳幼児期の影響や、小さい頃から外に出ないケースもあるため、教育委員会と連携する。</p>
教育次長	<p>④理由については、後日確認する。</p> <p>⑤小学校低学年からの不登校が増えているため、福祉保健部と連携して検討する。</p>
川上委員	<p>災害について公衆衛生推進協議会の取組を紹介したい。</p> <p>災害時に利用できる共同井戸を確保する取組を行っている。</p> <p>現地調査により井戸を探すのは大変であるため、共同井戸として利用できる井戸の情報があれば提供してほしい。</p> <p>畝地区は多いが、南小側は少ない。協力をお願いしたい。</p>
総務部長	<p>災害時の水の確保は非常に重要。公衆衛生協議会の活動はありがたい。</p> <p>いざという時にどういった形で活用するのかを検討することも重要。町と一緒に取り組んでいきましょう。</p>
中神委員	<p>P9「町内循環コミュニティバス利用者数」について、海田町内の問題として、バスに乗ることができず、タクシーも捕まらないため、病院に行くことができない方がいる。安心して暮らすためにタクシーを利用できるようにしてほしい。</p>
町民生活部長	<p>今年度、次期公共交通計画を策定するに当たり、タクシーの利用も含め検討委員会で議論してきた。</p> <p>バスの運行委託費が高額であるため、費用を減らしたいという思いもあり、デマンドタクシーの導入を検討したところ、逆に費用が増えるため、難しい。</p> <p>ご指摘のとおり、バスに乗れない人をフォローする必要があると考えている。</p> <p>元気な人に外に出かけてもらうために、高齢化社会にあった形にしたい。</p> <p>次期計画ではバスの運行を維持することとしているが、今後も状況にあった形態を考えていきたい。</p>
高橋委員	<p>P19 町内就業者数について、県内全体で人口減が続いていることから、広島銀行としても転出を食い止めるべく、事業所（働くところ）の確保を考えている。連携したい。</p>
企画部長	<p>町内の事業所が町外へ出ていくことを食い止める必要があると考えている。</p> <p>また、融資制度の変更についても考えており、県と協力していきたい。</p> <p>企業誘致や新規創業については、商工会と連携して取り組んでいる。まだ効果ははっきり出るまでには至っていないが引き続き進めたい。</p>

町長	<p>町内就労の増は立地的に広島市や東広島市が近いいため難しい。</p> <p>町内で頑張っている事業者に光を当てるべきと思っている。</p> <p>広報かいたで毎月事業者を紹介し、頑張っている雰囲気伝えたい。</p> <p>事業環境が今より良くなるようにつなげていけたらと思っている。</p>
富永委員	<p>以前から商工会員が減少している。新しい事業者が加入しない。</p> <p>海田町で新たに事業をする人には、町として強制的に商工会への加入させるような仕組みを考えてほしい。</p>
企画部長	<p>商工会の加入率は下がっているというよりも、現状維持であると認識している。</p> <p>コロナ禍においては、頼りになったのは商工会だった。インボイス制度が導入された際もそうだが、様々な節目で頼りになる。</p> <p>事業者を商工会へ強制的に加入させる仕組みを作ることは難しいが、町の補助制度では商工会加入を要件としている。</p> <p>来年度からは広報かいたを使って、事業者の紹介を行うなどの支援を行う。</p>
今川委員	<p>商工会からは商工会加入率が下がっているとのことであったが、町の就労対象人口数と町内就労者数を比較するとよい結果ではないかと考える。</p> <p>海田町には味のある良いお店がたくさんあるが発信されていないのでは。</p> <p>今の若者は Instagram ではなく、BeReal が主流。BeReal 上には海田町のお店が見当たらない。</p> <p>状況が変わっているので、海田町も BeReal に取り上げてもらえるように働きかけてはどうか。</p>
富永委員	<p>小さなお店は波に乗れない。</p> <p>色々な媒体で発信しているが、どうにもならないこともある。</p>
町長	<p>地道に時代の変化を認識することが大切であると考えている。</p> <p>対応できるかは個々の状況によるところであると思うが、講習会を行うなど流れを作るのが大事かと考えている。</p> <p>衰退すると元に戻れないので、現状を踏まえ今後をどうするか地道に考える必要がある。</p> <p>広報紙などの媒体を使って支援したい。</p>
俵委員	<p>民生委員としての目線では高齢者が取り残されているように思う。</p> <p>特に体調などが理由で百歳体操に来られない方が気になる。</p> <p>また、空き家の相続手続きを進めているが、手続きができてないことに悩む人の相談窓口を作ってほしい。行政から司法書士への手続きを勧めるなどの対応をしてほしい。</p> <p>外に出ることが難しい人に移動スーパーを実施してほしい。</p> <p>高齢者の移動手段を考えてほしい。</p>
福祉保健部長	<p>体調などを理由に百歳体操に来られない方は、町でも認識しており保健師が訪問するなど対応を行っているが、中々会えないケースがある。</p> <p>様々な課題を抱えている人の対応については検討しており、把握できていない人をどうするかは、町としての課題であると思っている。</p>

	地域の皆さんや社会福祉協議会と一緒に考えていきたい。
中神委員	事業所やお店について、府中町が取り組んでいるデジタルマップを作成してはどうか。200万円ほどの費用はかかるとのことであったが、飲食店などをデジタルマップにすることで、お年寄りも若い人も使いやすいのでは。商工会と町で力を合わせてつくってはどうか。
企画部長	すぐに対応するとは答えられないが、様々なニーズを調べて効果的で費用がかからない方法を検討したい。
武市委員	働く人の気持ちを考えると賃金の問題がある。相談も多い。行政も周知してほしい。町内の就業率も上がる。
企画部長	発信できるところから町からも発信したい。
田中委員長	これまでの話をまとめると、指標について意見があった。指標の設定が適切かが、次の計画策定のポイントになる。 各状況の詳細部分については、持ち帰って確認する。 今後のまちづくりについて議論があったが、共同井戸や移動手段、就業の場づくり（今あるものにどうやって光を当てるか）、賃金、相談の場づくりなど、総じて感じたのは連携の中で解決手段を探っていく必要があるということ。
議題(2)	第5次海田町総合計画後期基本計画について
事務局	資料2説明
新谷委員	海田町のいいところは、行政が子どもの状況を把握できているところ。広島市などでは難しく、温かくていいところである。 計画で書かれている言葉だけを見ると、他の市町と同じように見える。海田町ならではの良さが伝わっていない。もっと発信したらどうか。 例えば核家族などで急な体調不良により子どもの面倒を見ることができなくなっても、頼るところがなく、困るケースが結構多い。 このようなケースにおいて、海田町であれば行政に連絡すれば助けてくれるような仕組みがあればいい。 他の自治体にはないし、海田町ならできるのではないか。民間と連携しながら、パターンごとに役割分担ができるように。 お金での支援ではなく、気持ちの深い部分に届くようなサービスを考えてほしい。
福祉保健部長	ネウボラで様々はケースを把握して連携している。情報発信はしっかり行いたい。緊急時、高齢者であれば地域包括支援センターが一時的に相談に乗っており、子どもであればネウボラが受けている。 町だけでは解決できないことは保育施設など関係施設の協力も必要となる。 町と事業者の連携が必要と思っているので、こども子育て会議での議論を踏まえて考えていきたい。
今川委員	指標として町の良さを評価する、例えば15,000感謝を目標にしてはどうか。

	困っている人を町が助けると1感謝（解決事例）として数えるとか。 他の市町になく、独自性がある。
企画部長	指標の単位をどうするか、他市町と差別化できることを考えたい。
町長	後期基本計画を策定するだけで満足というものではなく、 町民にとってわかりやすいか、職員が進める施策の指標となっているか、 町も知恵を絞りながら、海田らしさが表現できるようによく考えたい。
今川委員	総合計画本編 P191 の優先度は通信簿である。 何を優先的に評価すべきか、職員がどのくらい把握しているか。
田中委員長	どのような指標を設定すべきか検討する必要がある。 海田の良さをアピールできるツールとして使えると思う。
議題(3)	交付金の効果検証等について
事務局	資料3, 4説明 (質疑なし)
議題(4)	その他
事務局	令和7年3月末の委員任期の満了に伴う来年度の委員就任依頼 (質疑なし)